

檜風呂の自力製作

E2 田中 晴峰

・目的 多様な場所に入れるように、組み立て式の檜風呂を作る。

檜風呂には独特な香りによるリラックス効果があり、さらに消臭・殺菌効果、保温性やその他健康促進効果などの効果がある。
 (αピネン・フィトンチット・ヒノキチオール・ボルネオールなど)
 今研究は自己利用を目的とした研究であったが
 組み立て式檜風呂を製作する上で、更に分解して持ち運べる形にして
 緊急時などにも容易に使用出来るようにするための研究である。

・パネル作り(材料作り)



①板の選抜

板を幅合わせて
組み合わせを決める

②プレーナー加工

接着面を平らにする
ために機械で削る

③ビケットソー加工

接着部に入れることで
反りを軽減し、パネルとしての
精度を上げれる

④接着・プレス仕上げ

接着剤を塗り、圧力をかけて
数日この状態に

・風呂作り



失敗

ほぞ穴を掘るが表面が割れた



失敗

ほぞも加工中に折れてしまう



完成？

ほぞは諦めてビスで止め
形だけ作る



OUT

加工ミスによる隙間



OUT

反りなどで生じた
滝のような水漏れ

初心に戻り、サイズを小さくしてリベンジ！

前回はほぞ作りが水漏れの原因になったので、板をそのままベルトで圧迫してみた。

今回は**卍固め**(風車型)にしたことで、圧力が均等に加えられたため、底板の隙間からは多少の水漏れはするが、側面板からの水漏れはなかった。

結果からほぞでの組み立ては水漏れの危険が伴うため、控えるべきである。

そして、このベルトでの圧迫はどれほどの水圧に耐えられるかはまだ不明だが、人間が入れるほどのサイズでの実用化は可能だと思われる。

**卍固め(風車型)は
側面からの水漏れがない！**

